



塩屋埼灯台の歴史と魅力

○歴史

平薄磯の沖合には、古くから浅瀬が多く存在し、航海者からは危険な場所とされてきました。明治時代以降、船の大型化、物流の活性化が進み、船会社や地元漁業者から、強い光が遠方まで届く近代的な灯台の建設を求められ、初代の塩屋埼灯台が明治三十二（一八九九）年に完成しました。白と黒のしま模様のある初代の灯台は、完成当時れんが造りの灯台として日本一の高さを誇りましたが、昭和十三（一九三八）年の福島県東方沖地震で甚大な被害を受け、解体されました。その後、昭和十五（一九四一）年に現存する鉄筋コンクリート造りの白亜の灯台が完成しました。

現在の灯台も、戦争や、東日本大震災等の災害による損傷などがありました。その時々最新の技術で修復が行われ、灯台の役割が維持されてきました。

○魅力

塩屋埼灯台は、全国に十六基しかない見学可能な灯台の一つです。「日本の灯台五十選」にも選ばれており、海に面している灯台の周辺は季節や時間帯によって、さまざまな景色を楽しむことができます。

また、最新の技術や設備が導入されており、灯台の心臓部に当たる光源（夜間に光を放つ部分）には、アーク放電による発光を利用した高輝度・省電力・長寿命のメタルハライドランプが用いられています。光度四十四万カンデラの強力な光は、複数の小さな屈折面が組み合わさった第三等大型フレネルレンズを介して、沖合約四十キロメートルまで届き、船舶に灯台の方角を伝えています。

塩屋埼灯台の見学

- ▶時間 8時30分～16時（入場は15時30分まで）
- ▶料金 200円（小学生以下は無料）
- ※天候などにより入場を規制する場合があります。

初代と現在の塩屋埼灯台



初代



現在

塩屋埼灯台周辺のおすすめ撮影スポット

- ①故・美空ひばりさんの曲「みだれ髪」の舞台になった塩屋岬とその歌碑などがある「雲雀乃苑」
- ②真下から見上げる灯台
- ③灯台を上ると一望できる美しい海岸線

いわきの海を守り続ける 塩屋埼灯台点灯120周年

平薄磯の断崖に立つ塩屋埼灯台は、明治32（1899）年12月15日の点灯開始以来、沖合を航行する船舶の安全を見守り続けています。点灯120周年を記念して各種イベントなどを開催しますので、本年で120歳を迎える塩屋埼灯台の歴史に思いをはせ、ぜひ足を運んでみてください。

○お問い合わせ
観光事業課
観光事業係
☎22-7477

塩屋埼灯台点灯120周年記念行事を開催

- 11月2日(土) 海まち・とよま灯台フェス
- 12月14日(土) 塩屋埼灯台の歴史・魅力を探る講演会
- 12月15日(日) 塩屋埼灯台点灯120周年記念式典



※場所は塩屋埼灯台で実施します。時間など詳しくは、塩屋埼灯台点灯120周年記念事業実行委員会のフェイスブック (<https://www.facebook.com/sioyasaki120/>) をご覧いただくか、同委員会事務局（☎080-6005-0989）へお問い合わせください。